

みらい とびら
未来への扉

高等特別支援学校 支援部 第173号

発行日:令和7年2月28日(金)



こころね
「心根」

1 学年支援部 O.M

～ 東風吹かば 匂い起こせよ 梅の花 主^{あるじ}なしとて 春な忘れそ～

2月25日は学問の神様、菅原道真^{すがわらのみちざね}の命日でした。

左遷^{させん}されることになった菅原道真が、大宰府^{だざいふ}に向かう際に、今日の邸宅の梅の木に別れを惜しんで詠んだのが、この歌です。

庭の梅は、道真の後を追って、大宰府まで飛んでいきました。そしてその地にしっかりと根付き、「飛梅^{とび}」と名付けられ、太宰府天満宮^{てしんぼく}の御神木として、1122年経った今も美しい花を咲かせています。

今年の飛梅の開花は、寒さが厳しかった影響で、例年より約1か月遅い開花となったようです。

2月下旬から3月下旬にかけて見ごろと予想されています。

「根付く」と言えば、食物は根っこさえ枯れなければ、いつか芽を出したり、花を咲かせたり、実を結んだりします。人間も植物と同じように「心根」と言う「根」を持っています。

「心根」は、本性である心の奥底にある気持ちを言います。

「心根」は、時には折れそうになったり、枯れてしまいそうになったりすることもあります。

そんなときは、ゆっくり時間をかけて耕したり、肥しをあげたり、大切にしたいですね。

下へ下へと丈夫な根を伸ばせば、必ず芽を出し、厳しい寒さにも負けない飛梅のように、花が咲き、実を結ぶことでしょう。

みなさんの心根をサポートできるように、心から応援しています。

～早春の訪れとともに～

寒さの中にも春の兆しを感じられる季節となりました。年度末が近づき、進級や卒業に向けた準備が本格化する時期です。支援部では、皆さんが次のステップに向けて安心して進めるよう、さまざまな支援を行っています。

1. 進級・卒業に向けた準備

この時期、進級する生徒は新しい学年での目標を考え、卒業する生徒は進路先での生活を意識することが大切です。

- **進級する生徒へ** 4月からの生活を見据えて、生活リズムや学習習慣の振り返りをしましょう。特に朝の準備や提出物の管理は、次の学年での自立につながります。
- **卒業する生徒へ** 社会に出る準備として、挨拶や報告・連絡・相談(ほうれんそう)の習慣を意識しましょう。また、実習や職場での経験を振り返り、自分に必要なスキルを再確認することも大切です。

2. 保護者の皆様へ

進級や卒業を迎えるこの時期は、生徒にとって期待と不安が入り混じるものです。家庭でも「できたこと」を振り返り、ポジティブな言葉がけをしていただけると、次への意欲につながります。支援部では、個別相談も受け付けておりますので、お気軽にご相談ください。

今後の予定

- 3月 4日(火) 卒業式
- 3月20日(祝) 修了式
- 4月 8日(火) 始業式

残りの学校生活を大切に過ごし、新しい一歩を踏み出せるよう、支援部一同サポートしてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

～お知らせ～

1. 個別の教育支援計画について

本校では、年に一度、4月の個人懇談にて合意形成を行っております。2月に実施した保護者アンケートでは「保護者の願い」を記入いただきましたので、3月の個人懇談にて内容を確認させていただきます。

<スケジュール>

- 2月:保護者アンケート実施
- 3月:個人懇談にて内容の確認
- 4月:合意形成

2. サポートファイルの取り扱いについて

本校では、サポートファイルを基本的に学校でお預かりしております(4月に一括管理)。返却を希望されるご家庭は、担任までお声がけください。

3. 3年生の保護者様へ

卒業式当日、会議室にてお預かりしているサポートファイルおよび個別の教育支援計画を返却いたします。その際、サインをいただきますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。